

# アンケート調査結果から

## 障害のある人の現況

福祉課が把握しているデータと昨年ご協力いただいた「障害のある人の生活に関するアンケート」の結果から、障害のある人の現状についてお知らせします。

### ○総数は増加の一途（高齢障害者の比率が高まる）

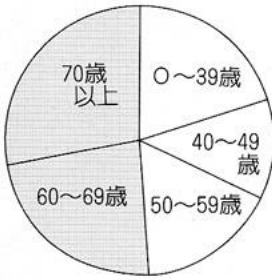
障害のある人の数は、減少傾向を示す市の人口とは逆に、増え続けています。その主な原因としては、

高齢化社会を迎え、人生中途で障害を持つ人が増えたこと、福祉制度の利用のため手帳を積極的に取得するようになったことなどが考えられます。

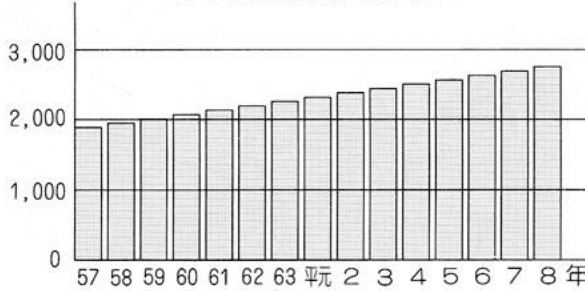
また、障害のある人の平均年齢は全体で56・9歳、障害によっては60歳を大きく超えているものもあります。障害の原因や発生時期を見ても、今後の高齢障害者の増加が予測されます。

※精神障害については、昨年10月に手帳交付が制度化されましたが、手帳を所持している人がまだ少数のため、統計数値に計上していません。しかし、該当する人は、市内に約千人ほどと推定されています。

年齢別構成比



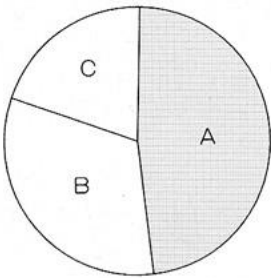
障害者総数の推移



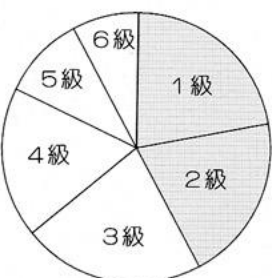
### ○障害の重度化

障害の部位別では、肢体不自由の人が、全体の約半分を占めています。また、最近よく言われるのが障害の重度化です。重度にあたるのは、身体障害で1、2級、知的障害でA判定ですが、それぞれ全体の40数%を占めています。

知的障害者級別分布



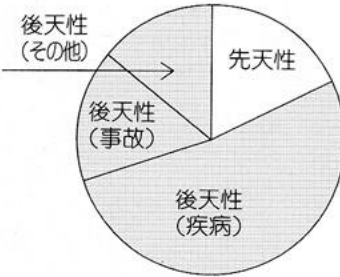
身体障害者級別分布



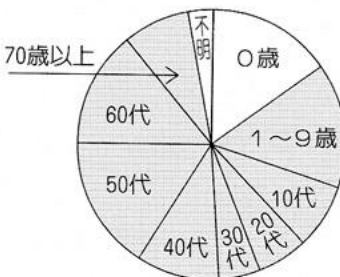
### ○疾病による中途障害の増加

生まれながらに障害を負っている人は5、6人に1人の割合となっており、人生の中

障害の原因



障害の発生時期



途で障害を負う人がいかに多いかが分かります。障害の原因としては、疾病が半数を超え、特に糖尿病などの成人病を原因とする障害が増えています。

○アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。実に多岐にわたるデータが得られました。この結果は、来年度策定を予定しております。障害者計画の中に反映させていただきます。

## 声

アンケートを通して様々な意見が寄せられました。その多くが、障害のある人への理解が一般に欠けていることから起こる問題でした。主なものは……

- 労働：働く場がない。待遇に差がある。同僚の理解がない。
- 環境：道路や街、施設や設備のバリアフリーを進めて。お店にスロープを。街路灯を増やして。
- 交通：移動手段の確保を。運賃の助成拡大を。バスの便をよくして。障害者用の駐車区画を一般の人が利用。
- 介護：入浴やデイサービスの拡大を。ヘルパーの増員を。介護技術の指導。
- 生活：手当、年金などの生活保障の拡大を。医療費の軽減。両親が亡くなった後が心配。制度やしきみに配慮を。情報がほしい。
- 施設：機能訓練・リハビリ施設がほしい。グループホームや障害者向け住宅の設置。入所施設がほしい。
- 理解：統合教育や福祉教育の充実を。自然な手助けのできる世の中に。
- その他：男性ボランティアを増やして。福祉行政の充実を。